

◆ 上島 区内の在住職員は大体二千四百人ほどいらっしゃるというふうに聞いておりますが、区内に限らず、全職員の休日の地域活動の参加を推奨していただきたいと思っております。多分、土日についてどう過ごされているか、把握されていないと思っておりますが、区では地域のさまざまな活動を活性化しようとしておりますし、実際、さまざまなご協力を得ているわけですから、地域活動への参加の全面的な推奨をすべきと考えますが、この辺についてはいかがでしょうか。

◎ 大場区長 私自身、仕事を通じて得たものが、区政を進める上で大変役に立ったという経験を積んでまいりました。区は区民参加を区政の基本とし、区民に広く地域活動への参加を求めています。そこで、職員が一市民として行った地域活動の経験を区政に生かすことができれば、区のまちづくりを一層推進する大きな力になるものと考えている次第であります。

◆ 上島 委員 私は、行政に携わる者はそういう姿勢であっていいのかなと思っております。この職員の地域活動への参加というのは、あくまで世田谷区の地域活動に参加してほしいということではなくて、やはり各職員が自分の地域でそれなりの活動をしていってもいいのではないかと。もしくは地域活動ではなくても、さまざまな市民活動、またボランティア活動というものがあると思っておりますが、そういった活動をしていただきたいと私は思っております。

世田谷区は新しい公共を進めていっているわけですが、この新しい公共というのは、まさに区民の方一人一人の積極的な参加というのが重要でありまして、それを提唱している区役所が、区の職員がみずからそういった行動をしていなければ、私はこういったことは実現できないと思っております。

そういう意味で、さきに質問させていただきましたが、区長のご答弁では、大変重要なことだというふうにご答弁いただいたんですけども、事務方のトップとして、助役としては、この辺についてどのようにお考えか、また、進めていっていただけるか。僕は推奨という方向でやっていただきたいと思っておりますが、その辺はどのようにお考えか、お聞かせいただきたいと思っております。

◎ 水間助役 私は、まちづくりを進めるに当たりまして最も大切なことは人と人との触れ合いだと考えております。お話にもございましたように、区民と職員がじかに触れ合いまして、お互いの信頼関係を築くということが最も基本である、このように思っております。

まちづくりの現場で職員に求められるものは、職務知識、あるいは役所の中の経験だけではなくて、一人の人間として自分が住んでいる我が町、私で申し上げますと八王子でございますけれども、地域に溶け込んでいく姿勢と努力だ、このように思っております。こうした資質は、勤務時間中の経験ばかりではなくて、お話のとおり、自分が住んでいる地域の活動に参加をいたしましたり、あるいは職務以外でさまざまな分野の方と交流をしながら、そういった形での会得をしていくものだと思っております。

したがって、このたびの支援制度を初めといたしましてさまざまな機会に、私の経験なども含めまして職員に話をし、一人でも多くの職員がご提案のような地域活動に、ぜひ参加してもらおうよう奨励をしてまいりたい、このように思っております。

◆ 上島 ありがとうございます。

区としてやっていくことが可能なのかわかりませんが、私はそんなに難しいことではないと思っておりますし、また、ぜひ庁内の全庁的な運動としてやっていただいてもいいのかなと思っております。

やっぱり新しい公共を進めていく上で、ぜひその辺、力強くやっていただきたいと思います。また、別の言い方をすれば、役所というもの、また行政というものを外から見ていくことが大変重要だと思うんです。一市民として行政と接していく、また見ていくことの大切さというものを、この推奨の仕方というのは大変難しいと思うんですが、そういった中で工夫して、しっかりと進めていっていただきたい、そのように思います。